

令和 3 年 6 月 24 日現在

機関番号：12102

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2018～2020

課題番号：18K18623

研究課題名（和文）アジア・アフリカにおける教員政策の国際比較研究

研究課題名（英文）An International Comparative Study on Teacher Policy in Asia and Africa

研究代表者

川口 純（Kawaguchi, Jun）

筑波大学・人間系・助教

研究者番号：90733329

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,800,000円

研究成果の概要（和文）：アジア3か国（タイ、インド、カンボジア）とアフリカ3か国（マラウイ、ザンビア、ケニア）の教員政策を対象として下からの視点を重視し、「教員」自身のリアリティや彼らの視点を中核に据えながら、調査を実施した。アジア・アフリカ地域の教員政策について国際的潮流との比較研究を実施し、各国特有の教員政策の特徴と課題を明らかにすることができた。現地調査を基に途上国各国のローカルな文脈を読み解くことを通じ、グローバルに語られる「教育の質」を再考するとともに、それらを実現するための教師の「質」をどう捉え、何をもちて教師の仕事の質を図るのが解きほぐした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在の教員政策における国際的潮流を批判的に捉え、途上国独自の特色に鑑み、地域に根ざした問題を掘り起こし、新たな視座を提供した。教育政策の改定が教員や地域住民に、いかに受け入れられているのか、教育政策受容の視点を提供した。各国の文化、価値観、社会状況を十分に包含し、教員政策研究のフレームワークを構築した。そのため、教員養成課程から輩出された教員が、学校現場で教育実践を実施する一連の経過を包括的に把握することが可能になった。本研究結果は、地域の文脈を包含した研究枠組みの提示や実証研究の蓄積など学術的貢献は当然ながら、国際教育協力に対する実践分野にも寄与していこう。

研究成果の概要（英文）：Focusing on the teacher policies of the three Asian countries (Thailand, India, Cambodia) and the three African countries (Malawi, Zambia, Kenya), emphasizing the perspective from below, focusing on the reality of the "teachers" themselves and their perspectives. We conducted a survey while setting it up. We conducted a comparative study of teacher policies in the Asia-Africa region with international trends, and were able to clarify the characteristics and issues of teacher policies peculiar to each country. By interpreting the local context of each developing country based on the field survey, we will reconsider the "quality of education" that is spoken globally, how to grasp the "quality" of teachers to realize them, and what is the teacher's | unraveled whether to improve the quality of work.

研究分野：比較教育学

キーワード：教員スタンダード 自省する教員 グローバルガバナンス ローカルの文脈 陶冶財

## 1. 研究開始当初の背景

申請者と協働研究者は、これまでアジア・アフリカの途上国における教員政策を研究の中心に据えてきた。現在の途上国の教員は、先進国と同様、グローバル化の中で、様々な教育課題が多様化、複雑化している状況下に置かれている。特に初等教育では90年代の後半から無償化政策の影響で就学者が急増し、多くの学校では教員一人あたりの児童数が激増し、教育の質の深刻な低下を招いた。その後、教員不足解消のために、国際機関主導で教員養成期間の短縮化、無資格や低資格の教員雇用、教員給与の引き下げ、契約ベースでの雇用などの施策が取られたが、結果的に教員の資質能力や意欲の低下も報告されている。

教員政策のグローバル化が進展する中で、新自由主義に基づく改革が実施され、教授法や教員養成、教員配置などの教員政策が画一化される傾向にある。教員のコンピテンシーの策定やそれに基づく評価などが世界中で普及し、教員の質向上が目指されている。その一方で、マニュアル化され、項目化された「コンピテンシー」や「教員評価」が却って教師の自主性の伸長を阻害し、教員のモチベーションを低下させているのではないか、という危惧も存在する。特に、途上国においては、教師中心主義の教授法やモチベーションの低い教員の存在が「問題視」され、国際標準に合わせた上からの教員政策の改定が実施されている。しかしながら、既存の実証研究を概観すると、単に国際標準に合わせた教員評価や教授方法を現場の教師に押し付けても、実際の教室の中での実践力向上や教育の質上昇には繋がっていないことが分かる(SACMEQ 2015)。

国際標準や潮流を踏まえながらも、一方で各国の教育文化や教員自身が受けてきた教育に鑑みながら、各国の教員が自主的、自律的に教育実践を試行出来るような教員政策が必要とされている。そこで、教員政策の国際基準を理解した上で「学び続ける教員」を如何に養成すれば良いのか、そして、その教員が如何に長く学校現場で活躍出来るのか、各国の教員政策研究者と国際協働研究を実施していく必要性を認識し、本研究を着想した。

## 2. 研究の目的

本研究では、アジア・アフリカ地域の教員政策について国際的潮流との比較研究を実施し、各国特有の教員政策の特徴と課題を明らかにすることが目的である。現地調査を基に途上国各国のローカルな文脈を読み解くことを通じ、グローバルに語られる「教育の質」を再考するとともに、それらを実現するための教師の「質」をどう捉え、何をもって教師の仕事の質を図るのか解きほぐしていった。また、教師が自らの教育経験に基づく裁量で学習者1人1人の個性や学び方に配慮しながら自律的に教育活動を行っていくアプローチ(「省察する専門家」とのバランス)を図ることもますます重要になってくるため、その視点からの考察を深めることも本研究の目的である。

## 3. 研究の方法

研究方法としては、アジア3か国(タイ、インド、カンボジア)とアフリカ3か国(マラウイ、ザンビア、ケニア)の教員政策を対象として、各国の教育事情、教員政策に精通している教育研究者が、現地の教員政策研究者と国際協働研究を実施し、調査結果を基に、6か国間での国際比較を実施した。途上国の教員政策研究は、政策自体が上から下に落とされることに倣い、上からの視点で実施されることがほとんどであるが、本研究では下からの視点を重視し、「教員」自身のリアリティや彼らの視点を中核に据えながら、調査を実施した。

研究体制としては、研究 代表者の川口を総括とし、各対象国の担当をタイ：牧、インド：小原、カンボジア：荻巣、ザンビア：興津、ケニア、マラウイ：川口とした。いずれも担当国において、豊富な調査経験を有しており、各担当国の歴史、社会、経済、文化、制度に精通している。既に担当国でのネットワーク構築も出来ている。本研究の性格の上、現地調査を研究フレームワークの中心に据え、各現地から得られたデータ、情報を集約し、論文などに結実させていく手法を採用した。

各研究者は現地でカウンターパートナーと密に連携して、現地の協働研究者と対等な立場で研究を実施した。また、研究部会を立ち上げ、継続的に当該研究会を実施した。

#### 【平成 30 年度：研究基盤の構築段階】

- (1) 各国の研究体制の確立（5月下旬：第1回全体研究会議 Web 上での連絡会議を実施）
- (2) メールベースや文献を活用した関連基礎資料の収集、整理（5～9月）
- (3) 第一次現地調査の実施（8月～10月）、調査結果の分析（10月～12月）
- (4) 国際比較教育学会等、関連学会での研究発表の実施（1月～3月）

#### 【令和元年度：展開段階】

- (1) 第2回全体研究会議の開催（5月）
- (2) 日本比較教育学会におけるラウンドテーブルの開催、第3回全体会議の開催（7月）
- (3) 第二次現地調査の実施（8月～10月）、調査結果の分析（10月～12月）
- (4) 国際比較教育学会等、関連学会での研究発表の実施（1月～3月）

#### 【令和2年度：調査結果の分析、研究成果を発信、実践へ還元】

最終年となる令和2年度には、研究成果の発信に重点を置き、国内外の学会での発表、国際会議での研究成果の共有など、研究面だけでなく、国際教育協力などの実践への貢献を行った。

## 4. 研究成果

本研究の成果は、まず、現在の教員政策における国際的潮流を批判的に捉え、途上国独自の特徴に鑑み、地域に根ざした問題を掘り起こし、新たな視座を提供した点にある。教員養成を例にとるとアフリカ諸国では、期間を短縮し、学校レベルでの 実地訓練を活用した教員養成が、既存の大学での教員養成に代わり、推奨される傾向がある。本研究では、上記の様な教育政策の改定が教員や地域住民に、いかに受け入れられているのか、教育政策受容の視点を提供することができた。そして、果たして現在の教員政策の潮流が、長期的な教育文化醸成にとって望ましい方向に向かっているのか、疑問を投げかけるという点で本研究は創造的な役割を果たした。

また、途上国を対象にした類似の研究はそもそも多くの蓄積がなされていないため、ほぼ前例が無く、政策が上から落とされることに倣い、上からの視点で研究が多く実施される中で、下からの視点を包含した本研究は非常に独創性の高いものとなった。研究の結果、途上国における教員政策を軸とした教育の質低下の全体的な構造が、明らかになった。本研究では、各国の文化、価値観、社会状況を十分に包含し、教員政策研究のフレームワークを構築した。そのため、研究結果は教員養成課程から 輩出された教員が、学校現場で教育実践を実施する一連の経過を包括的に把握することが可能になったと考えられる。研究結果は地域の文脈を包含した研究枠組みの提示や実証研究の蓄積、といった学術的貢献は当然ながら、国際教育協力に対する実践分野にも今後寄与していくと考えられる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 川口純, 佐久間茜	4. 巻 22
2. 論文標題 アフリカ人留学生の受け入れに関する一考察 日本の大学選定過程の分析を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際教育協力論集	6. 最初と最後の頁 15~31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 川口純, 西村里史, 羽田良之, 岡村拳	4. 巻 44
2. 論文標題 IB教育における『学習方法』の受容実態に関する予備的考察 一条校でのミドル・イヤーズ・プログラム (MYP) を対象に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育学系論集	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 川口純, 佐久間茜	4. 巻 105
2. 論文標題 アフリカ人留学生の受け入れ促進について 日本の大学進学を選択した学生の意見を基に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 留学交流	6. 最初と最後の頁 1~14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小原優貴	4. 巻
2. 論文標題 インドの教科書制度	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 海外教科書制度調査研究報告書	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧貴愛	4. 巻
2. 論文標題 タイの基礎教育における格差是正措置	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会報告論文集	6. 最初と最後の頁 1~4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧貴愛	4. 巻 6
2. 論文標題 タイ華僑崇聖大学の存立基盤 社会奉仕の精神とタイ王室の庇護	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大学教育論叢	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Edwards, D.B., Okitsu, T., Mwanza, P	4. 巻
2. 論文標題 Low-fee private schools, the state, and globalization: A market analysis within the political sociology of education and development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Education Policy Analysis Archives	6. 最初と最後の頁 1-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14507/epaa.27.4534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 興津妙子	4. 巻 59
2. 論文標題 文献紹介 興津妙子・川口純編「教員政策と国際協力-未来を拓く教育をすべての子どもに」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較教育学研究	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 興津妙子	4. 巻 2
2. 論文標題 新刊紹介 澤村信英編 「発展途上国の困難な状況にある子どもの教育 難民・障害・貧困をめぐるフィールド研究」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 127～131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻巣崇世	4. 巻 5
2. 論文標題 授業研究の国際的な伝播と循環 日本国内の授業研究言説の変遷に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センタ	6. 最初と最後の頁 117～132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogisu, T.	4. 巻 48
2. 論文標題 “ It is not politically correct ” : Exploring Tensions in Developing Student-centered Policy in Cambodia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Compare: A Journal of Comparative and International Education 48 (5)	6. 最初と最後の頁 pp.768-784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻巣崇世	4. 巻 21
2. 論文標題 「ボーダー」に生きる人々の教育戦略 在カンボジア・ベトナム系住民と学校	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際教育協力論集	6. 最初と最後の頁 pp.17-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧貴愛	4. 巻 57
2. 論文標題 一国研究または『教育の地域研究』における研究枠組みの構築 タイ教師教育研究を振り返って (特集 方法論を編みなおす)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 比較教育学研究	6. 最初と最後の頁 pp.4-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計26件 (うち招待講演 8件 / うち国際学会 10件)

1. 発表者名 Kawaguchi Jun
2. 発表標題 21st Century Skills in Special Needs Education
3. 学会等名 3rd ICES International Conference on Special Needs Education, Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawaguchi Jun
2. 発表標題 Special Needs Education in Japan: Access and Quality
3. 学会等名 Special Education International Conference. Ministry of Education in Malaysia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawaguchi Jun
2. 発表標題 What is the Inclusive Education?
3. 学会等名 JICA REACH seminar, Ministry of Education in Sri Lanka (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawaguchi Jun
2. 発表標題 Sexual Education for Children with Disabilities and Support for Parents.
3. 学会等名 SEAMEO Regional Centre for Special Education (SEAMEO SEN), Malaysia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川口純
2. 発表標題 インクルーシブ教育の推進にかかる教員政策
3. 学会等名 JICA国別課題研修(アフガニスタン) JICA東京(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川口純, 牧貴愛, 小原優貴, 興津妙子
2. 発表標題 これからのアジア・アフリカ教員政策の話をしよう
3. 学会等名 日本比較教育学会第55回大会ラウンドテーブル、東京外国語大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイ教師教育研究のこれまで、これから
3. 学会等名 日本比較教育学会第55回大会、東京外国語大学府中キャンパス
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Takayoshi Maki, Udornluk Koolsriroj, Athithouthay Chatouphonexay, Sitthikorn Sumalee, Mayouly Keophatsada,
2. 発表標題 Comparative Study on Teacher Education Standards: Cases from Thailand, Laos and Japan,
3. 学会等名 The 10th World Education Research Association (WERA) 2019 Focal Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Maki, Foster Gondwe, May Thu Kyaw, Phaly Chhem
2. 発表標題 Becoming a Teacher Educator as Researcher: A self-study of novice teacher educators from Cambodia, Japan, Malawi and Myanmar,
3. 学会等名 The 10th World Education Research Association (WERA) 2019 Focal Meeting, Gakushuin University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイの基礎教育における格差是正措置
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会、東京大学駒場キャンパス
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Maki, 5 .Foster Gondwe, Mayaka Hida, Emmanuel Ukwizagira, Sornprapa Siripattarawit,
2. 発表標題 Building Self-Study Network of Teacher Educators in Asia and Africa: Epistemological Turn for International Development and Cooperation,
3. 学会等名 The 6th International Conference on International Relations and Development (ICIRD), Mae Fah Luang University, Chiang Rai, Thailand (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイ華僑崇聖大学の生存戦略
3. 学会等名 東南アジア教育研究フォーラム、立命館大学キャンパスプラザ京都
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Maki , Wanwalee Inpin, Reni Juwitasari, Maya Dania, Chosein Yamahata
2. 発表標題 Comparative study of Disaster Education in Myanmar, Thailand, Indonesia, and Japan: Dialectic between SFDRR and Country ' s Policies and Practices,
3. 学会等名 The First Biennial Comparative Education Society of Cambodia, Comparative Education Society of Cambodia, Siem Reap, Cambodia ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Maki
2. 発表標題 Decolonizing Methodology: Japanese Comparative educationist perspective,
3. 学会等名 The First Biennial Comparative Education Society of Cambodia, Comparative Education Society of Cambodia, Siem Reap, Cambodia ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayoshi Maki
2. 発表標題 Preparing the Next Generation of Thinker Teachers,
3. 学会等名 Preparing Thinker Teachers and 2019 SNU-HU-NTNU-KU Joint-Symposium on Science Education In Celebration of the 50th Anniversary of the Faculty of Education, Kasetsart University, ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 岐路に立つタイの教員養成 教職基準とカリキュラムに見られる変化
3. 学会等名 これからの「教育」の話をしよう 第 24 回大会、広島商船高等専門学校
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 関口洋平, 荻巣崇世, 橋本憲之, 内田直義
2. 発表標題 比較諸学の対話-これからの比較教
3. 学会等名 日本比較教育学会第55回大会ラウンドテーブル
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荻巣崇世
2. 発表標題 授業研究の国際的な伝播と循環のポリティクス：教育借用理論の再構
3. 学会等名 第78回日本教育学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイ『国家教育法』改定案の内容分析
3. 学会等名 第 2 回東南アジア教育研究フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイと日本の学校管理職に求められる資質・能力 専門職基準の比較分析
3. 学会等名 国際開発学会第29回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shimoda, A., & Maki, T.
2. 発表標題 Japan's National Institute of Technology (KOSEN): Bridge to Higher Education and Future Job as Quality Engineer.
3. 学会等名 The 2018 WFCP World Congress
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Maki, T., Shimoda, A., & Gondwe, F.
2. 発表標題 Developing Research-oriented Human Resource for Quality Education: Case of Cambodian Students' Graduate Study Experience in Japan.
3. 学会等名 The 11th Biennial Comparative Education Society of Asia
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Gondwe, F. & Maki, T.
2. 発表標題 The Problem of Learnification of Education in Teacher Education Policy: Cases of Malawi and Japan.
3. 学会等名 The 21st Africa Educational Research Forum
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口 純
2. 発表標題 “休学”を活用する女子生徒たち マラウイの中等学校の修学記録から
3. 学会等名 第21回アフリカ教育研究フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西村幹子、川口純、中和渚
2. 発表標題 ケニアの半乾燥地域におけるコミュニティを基盤とした教育開発
3. 学会等名 第21回アフリカ教育研究フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林のどか、清水大地、川口 純
2. 発表標題 学生がスポーツを通してつなげる国際ボランティア マラウイ共和国でのUNDOKAIを事例に
3. 学会等名 第19回国際ボランティア学会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 石原伸一、川口純	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 448
3. 書名 日本の国際教育協力「第4章：教員の授業実践 子どもの学びの改善に向けての試行錯誤」	

1. 著者名 Almeida, S. and Ohara, Y	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Researching Early Childhood Education for Sustainability	5. 総ページ数 -
3. 書名 Research in Early Childhood Education for Sustainability: Policies and Perspectives from India	

1. 著者名 興津妙子, 北村友人, 佐藤真久, 佐藤学	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 304
3. 書名 SDGs時代の教育	

1. 著者名 興津妙子, 萱島信子, 黒田一雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 448
3. 書名 日本の国際教育協力「第3章 学校建設 - 多様なニーズに応える学び舎づくりへ	

1. 著者名 石田洋子, 興津妙子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 448
3. 書名 日本の国際教育協力「第5章 行政能力強化と学校運営改善 国際教育	

1. 著者名 興津妙子、川口純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 363
3. 書名 途上国の教員政策と国際協力	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	牧 貴愛  (MAKI TAKAYOSHI)  (80610906)	広島大学・国際協力研究科・准教授   (15401)	
研究分担者	萩巣 崇世  (OGISU TAKAYO)  (00743775)	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・特任助教   (12601)	
研究分担者	興津 妙子  (OKITSU TAEKO)  (20772784)	大妻女子大学・文学部・准教授   (32604)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------